

西始良校区コミュニティ協議会だより

おむニュータウン

向こう三軒両隣、気配り助け合い



くすみん

第18号 令和元年7月15日

発行 西始良校区コミュニティ協議会
始良市西始良一丁目22-3 TEL 0995-73-8415
発行人 会長 桐野弘城

この夏 各自治会子ども会の ラジオ体操会に 参加してみませんか!!



元気な町づくり
を目指して



副会長 前田 昇一

年号も令和に
なり、西始良校
区コミュニティ

協議会も令和元年のスタートをきりました。向こう三軒両隣、気配り助け合いをキャッチフレーズに例年催しされている夏祭りや運動会、文化祭などを通して住民同志の絆づくりを目標に、校区の皆様が笑顔で暮らせる元気な町づくりを努めています。その一貫として校区コミュニティでは、自治会をはじめ各自治会のシニアクラブ・子ども会・サロン・専門部会による地域づくり行事など様々な団体が活動を行っています。特に校区コミュニティは中心的存在として、関係団体と協力しながら地域の防災や防犯・環境美化や地域の見守りなど様々な活動を支えています。こうした活動を通して、地域に暮らす人たちの思いを活かした地域づくりを実現できるように努め、行政との連携を深めながら校区の活性化を図って参ります。今後とも校区コミュニティへのご理解とご協力をお願いし、決意の言葉と致します。

各部長の抱負

誰もが参加しての 地域づくりを



地域づくり部
濱田 健一

始良市内で、希少価値的存在となった手づくりの「夏祭り」。若い家族と介護を必要とする高齢者まで、和気あいあいと参加できる「運動会」。実りの秋に、子どもたちの真摯な意見発表、日頃から磨き上げられた芸術作品や芸能舞台の発表、内容豊かな西始良小PTAバザー等、賑やかで格調高い「文化祭」。

これらのイベントは総て、コミュニティづくりに関心と小さな無償の協力を惜しまない、およそ一四〇〇軒の「心優しい友人たち」のおかげです。

縁あって共同体を創り合っている私たちです。みんなで手を携えて、地域づくりを進めていきましょう。



活動にご協力を



福祉部 万福勝 則

福祉部は、十九名の委員を四つの部、サロン部・研修部・文化部・グラウンドゴルフ部に分かれて活動します。

それぞれの部は世話役を中心に部会を開き計画します。今年も、サロン部はバス旅行。研修部は高齢者を対象にした研修会。文化部は、文化祭への協力。グラウンドゴルフ部は六十五歳以上の高齢者を対象にしたグラウンドゴルフ大会を計画します。それと年末の「赤い羽根募金活動」への協力など年間を通しての活動となります。高齢者の方々が気楽に参加される場づくりが、福祉部の役割かと思えます。一人でも多くの方の参加をお待ちしております。

益々、高齢化が進む昨今。健康寿命を維持するには、家に閉じこもらないで回りの人と接する機会を数多く持ち、友達作りをする事が大切ではないでしょうか。



各種行事に多数の参加を願って



健康部 権 丈 正

健康部では、「活気あふれ みんなで参加 地域に絆」を健康部が目指す姿です。毎年の行事について反省してみますと、行事によっては参加者が固定化しつつあるため、若い世代の参加を進める工夫をしなければならぬと思っています。

その為に、年間の行事は決まっていますので、運営の方法や内容を検討し、より楽しくより健康的に参加してよかったです、地域のみなさんが喜んでもらえるような運営していきます。具体的には、競技内容の精選や参加賞品の種類や数を増やしていきます。今年もご協力をよろしくお願い致します。



世代交代の中で繋ぎたい思い



青少年育成部 鵜 木 孝 夫

私事ながら西始良に家を建てて五年後の平成五年から仕事の都合で県内七カ所を転勤移住し、平成二五年に定年退職、二〇年ぶりにやっと我が家に帰り着きました。縁あって、その二年後に青少年育成部長を仰せつかり、今に至っています。

歴史のない西始良に、先輩たちが「ここで育つ子どもたちのふるさとづくりを」の思いで創り出した夏祭り、十五夜大会、意見発表会などの行事が脈々と受け継がれていることに、深い思いをいたします。

十五夜大会で綱引き、相撲を行います。PTAおやじの会にも多大な協力をいただいています。前PTA会長の中村知将さんが言われた、「ぼくたちもこの行事で育ちました。」の言葉は、大変嬉しいものでした。「子どもたちに最高の思い出づくりを」の思いは、世代交代の中でも繋いでいきたいと思えます。

校区全体でこれまで取り組んできた青少

年育成の取組が評価され、五月には始良・伊佐地区子ども会育成会連合会表彰を受けたことを報告いたします。



コミュニティ協議会役員名簿

会 長	桐野弘城
副 会 長	前田昇一
副 会 長	財津健二
事務局 長・会計	岩重郁夫
事務局 補 佐	代宮司一隆
総 務 部 長	下川路久夫
健 康 部 長	権 丈 正
福 祉 部 長	万 福 勝 則
青少年育成部 部長	鵜 木 孝 夫
地域づくり部 部長	濱 田 健 一

子どもたちと気軽に
交流できる場を

南自治会 島子孝一

平成八年、本校区に家を見て、西始良校区民に仲間入り。転勤で新築の家に住めたのはわずか一年半。それから十五年の時を経て自宅に戻ってきてから七年目を迎えます。

二十数年前、四百五十名前後もいた西始良小の児童数は現在三分の一余り。人口増加で勢いのあった西始良校区も少子高齢化が急激に進行しています。

そこで提言です。本校区には様々な知識や経験をお持ちの元気なシルバー世代が多くいらっしゃいます。これらのシルバー世代と子どもたちが気軽に交流できる「サロン&放課後教室」施設はできないものでしょうか。無料の放課後教室併設サロンができれば、働きながら安心して子育てができ、転入者が増えるのでは。私も将来、ボランティアで子どもたちの勉強を見てあげたり、様々な体験活動のお世話をしてみたいなあ。

私モ一言

子ども会育成会長二年生です

西自治会子ども会育成会長 椎原千佳

長男が六年生になったことで、西地区の子ども会育成会長を引き受けました。昨年の役員さんから引継ぎを受けましたが、何もかもが初めての経験です。

私たちの子ども会では、一年生を迎える会など季節のお楽しみ会も開きますが、心配なことは、夏祭りのみこし担ぎや灯籠作り、七夕飾りの作成がうまく進むかということでした。

先日開かれた校区コミュニティ協議会青少年育成部の中では、夏祭りに向けて校区全体での取組が話題となり、解決策まで話し合われて心強く思うことでした。

幸いにも私たちの後ろにはいつも地域の方々の応援や支援があり、ありがたく思っています。

もうすぐ夏休みがきます。地域のラジオ体操も開きますが、働きに出る父親母親も多く、ラジオ体操の当番がやっとなです。

今年もどうぞ地域の方々の応援がいただけますように宜しくお願いいたします。

編集後記

「初春の今月にして

氣淑く風和ぎ

梅は鏡前の粉を披き

蘭は瓶後の香を薫らす」

現代語訳は「時あたかも新春の好き月、空気は美しく風は柔らかに、梅は美女の鏡の前に装おう白粉のごとく白く咲き、蘭は身を飾った香の如きかおりをただよわせている」

令和の典拠とされた『万葉集』第五卷「梅の花の歌の序」で有名になりました。

さて、本協議会も令和元年度を迎え役員一同新たな気持ちで努力して参ります。旧年度に増してよろしくお願ひ申し上げます。

今回の広報紙に「私モ一言」と二人の方に玉稿をお寄せ頂きました。広報紙「あいらニュータウン」は、今後も会員の皆様に親しみを持ってお読み頂くように紙面を工夫し参ります。紙面に関してご意見ご要望が御座いましたら事務所までお寄せ下さい。

令和元年度も広報紙「あいらニュータウン」をよろしくお願ひします。

(事務局長 岩重郁夫)